

第10回

JDA 春期ディベート大会

「日本・中国・韓国および全ASEAN加盟国は、自国通貨を廃止し、共通通貨を採用すべきである。」

2004年3月7日(予選)、13日(決勝)

日本ディベート協会

(Japan Debate Association)

ごあいさつ

JDA 日本語ディベート大会へ、お越しいただきありがとうございます。

春期大会も早いもので、今回が 10 回目の記念大会になります。関係各位、及び、いままで大会に参加してきた皆様に厚く感謝いたします。今回は日程が二日間になり準決勝も行い、二日目には記念行事としてディベート甲子園プロポジションでのデモンストレーション・ディベートを予定しています。

今回の論題は、「日本・中国・韓国および全 ASEAN 加盟国は、自国通貨を廃止し、共通通貨を採用すべきである」です。経済のブロック化と貿易自由圏構想が同時に世界で進む現在では、基軸通貨としての共通通貨の創設は最重要課題のひとつです。

ユーロを例にしても、共通通貨には三つの主要な論点があります。第一に、歴史的なわだかまりを抱えた国々の連帯のシンボルです。二回の世界大戦で荒廃した経験を持つ欧州では、過去への反省と平和的な枠組みの強い決意を持って欧州統合を進めてきました。ユーロは、その中心的政策になっています。

第二に、共通通貨を用いる地域の政治的な連帯です。欧州ユーロ圏の創設は、ドルによる米国の一極支配に対する対抗措置の意味があります。

最後の理由が、共通通貨を採択することで人と物の移動と交流を進めようという経済的な政策が関わっています。ユーロの場合、まだイギリスが未加盟ですが、ユーロ圏内で為替相場の変動のリスクが無くなったことや、旅行者が両替をせずに旅行できるメリットは大きいと言えるでしょう。

アジアの未来を考える上で、共通通貨の採択は以上のようにさまざまな分野で大きな影響を及ぼすに違いありません。

ディベートは、賛成論と反対論を代表する両方のチームが協力しながらベストな政策の方向性を探っていくコミュニケーション活動です。今回のような機会を通じて、参加者と見学者の方々の建設的な議論能力の修得に JDA が多少なりとも貢献できれば幸いです。

鈴木 健

鈴木 健：日本ディベート協会会長、津田塾大学助教授

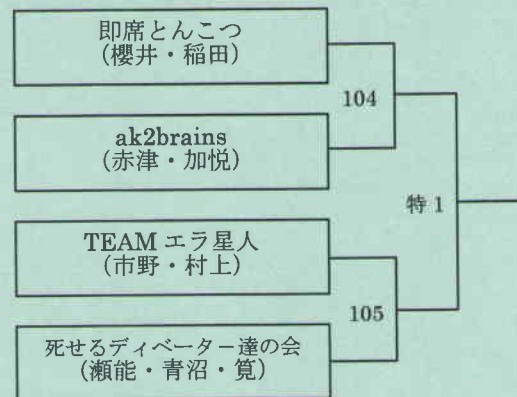
フォーマット

肯定側第一立論	6分
否定側質疑	3分
否定側第一立論	6分
肯定側質疑	3分
肯定側第二立論	6分
否定側質疑	3分
否定側第二立論	6分
肯定側質疑	3分
否定側第一反駁	4分
肯定側第一反駁	4分
否定側第二反駁	4分
肯定側第二反駁	4分
準備時間：各チーム	8分

スケジュール

3月13日(土)
10:15~ 準決勝
12:45~ 準決勝コメント・結果発表
13:30~ 決勝戦
15:15~ 第10回記念行事
16:10~ 決勝戦コメント・結果発表
17:00~ 表彰式
17:20 終了

対戦内容



出場者・見学者の皆様へ（必ずお読みください）

- ・ 試合会場は全て1号館にありますので、部屋番号を確認の上、移動してください。また、貴重品は常に身につけて行動してください。
- ・ 校舎内は全面禁煙です。喫煙所以外での喫煙は固く禁止します。
- ・ 昼食は、東京農業大学の学食をご利用になれます。
- ・ 部屋をきれいに使う様心がけてください。ゴミはきちんと分別してお捨ててください。
- ・ 電波受信時に録画機材にノイズが入るため、携帯電話、PHS等は必ず電源を切ってください(マナーモードも不可)。
- ・ スピーチ中の試合会場への入場・退出はご遠慮ください。見学は試合の妨げにならないよう、お静かに願います。ヤジは禁止です。
- ・ 試合の録音・録画については基本的に自由ですが、以下の三点をお守りください。1. 出場者の許可を得る（出場者の方はなるべくご協力ください）。2. 授業・講義・クラブ活動での使用に限る。3. 他の方にダビングしない。